ANNUAL REPORT

事業報告書

2019



社会福祉法人 太樹会

皆様とともに

和里(にこり) 2019.4~2020.3



介護の日

2019年11月

靴下市・フリーマーケットを開催.

ボランティアによる恒例のハンドマッサージや琉球祭太鼓の演武も皆さま楽しみにされています。約250名が来場されました。



地域のクリーンデイ

2019年5月

社員の社会貢献などに対する意識向上 を目的として,周辺地域の美化作業に 参加しました.







クラブ活動など

地域で活動しておられるボラン ティアの皆さまやご家族にご指 導をいただきながら,「陶芸」 「茶道」「華道」「おりがみク ラブ」を開催しています.



陵西小学校との交流

2019年10月

福祉教育の一環として交流会を 実施. 相互交流を通じて互いを 理解し認め合い, 地域共生社会 を意識した活動を行います.







RUN伴

2019年10月

RUN伴2019のテーマは「Connecting the dots! (点と点をつなぐ)」でした。 g タスキを通じて、点と点をつなぎ、私たちも欲しい未来を描いていければと思いました。





ボランティアイベント

地域で活動している各種団体や和里(にこり)地域 交流スペースを利用している団体の皆さま,生活者 のご家族がイベントを開催してくださいました.



皆様とともに

2019.4~2020.3



地域のクリーンデイ

2019年5月,9月

社員の社会貢献などに対する意識向上と地域住民 との交流を目的として, 周辺地域の美化作業に参 加しました.



RUN伴

2019年10月

テーマは, 「Connecting the dots! (点と点をつなぐ)」 次にタスキをつなぎました.



ボランティアイベント

2019年5月, 12月 迫力のある演奏と歌声で音楽会を開催 いただきました.



クラブ活動

華道教室などを開催しました.





見学会

2019年6月, 11月

6月は栄養補助食品をテーマとしてケ アマネ向けに、11月はハーバリウムを テーマにご家族向けに行いました.





香芝ふれあいフェスタ2019

2019年11月

私たち自身も地域のイベントに貢献できれば との思いで参加しました.



社会福祉法人 太樹会は、和里(にこり)が10周年を迎えた2017年に「長期ビジョン2027」を検討しました. 法人理念を実現するため、目指すべき方向を示した2022年3月までの5年間で具体化する行動目標を「中期経営計画2022」として掲げ、これに沿って様々な活動を展開しています.2019年度に取り組んだ内容についてご報告いたします.

長期ビジョン2027

Creating Shared Value

超高齢&人口減少社会において、地域社会のつぶやき(困りごと、ニーズ)に真摯に取り組むことで、当法人の社会的価値は創造され、その結果として、経済的価値(自主・自律的な経営)が確立できます。

法人の使命と理念に基づく福祉実践を積み重ねていくことで、社会と共有できる価値の創造を目指します。

Personhood

パーソンフッドの向上

パーソンフッドとは、「支援する側、 される側の区別なく、"私は必要とされている"と感じられる相互関係をつ くること」であり、私たちが日頃から 支援の目的にしようと試みている重要な概念です。

この概念をステークホルダーとともに実感できるよう努めていきます.

Resource

経営資源の有効活用

若い法人ですが、培ってきたknow-howやknow-who,人財があります.

地域のつぶやきに真摯に向き合い, 共生社会の実現を目指すためにも,経 営資源を活かし,具体的に社会に還元 ができる法人となるよう努めていきま す

Mission

法人の社会的使命

私たちは、地域社会におけるセーフティネットを構成する社会資源です. 地域に暮らす人々から真に信頼される法人になるために、公正かつ透明性の高い、また、適正な経営と実効性のあるガバナンスの確立に努めます.

中期経営計画2022

2017年4月~2022年3月の5ヵ年計画

財力ある職場づくり

パーソン・センタード・ケアを価値基盤とした組織風土の醸成や真のワーク・ライフ・バランスが実現できる職場づくりに努めます。また、ICTの活用などにより生産性の向上に取り組みます。

2 地域包括ケアシステムの推進

地域で継ぎ目なく支援が受けられるように法人内外の連携を強化します. また, 第三者評価の受審などを通じて, 地域支援と居住施設のあり方を追求します.

3 人財共育の推進

経営理念の明文化と周知徹底を行います. また, リーダー層の育成を重視するとともに, 人事マネジメントシステム(採用ツール, キャリアパス, 人事考課, 報酬)を再構築します.

4 専門性と支援の質の追求

専門職としての価値を理解し、知識・技術の向上に努めます。また、科学的根拠に基づく研究と実践を行うためにも、産官学連携などに取り組みます。

5 地域コミュニティの活性化

法人が有する地域交流スペースを積極的に地域に開放します. また, 法人間連携を強化し, 地域のつぶやきに応じた街づくりに貢献します.

6 生活困窮者への支援

生活困窮者が社会的自立を果たせるよう,様々な中間的 就労の場を提供し,一般就労への移行を支援します.また, 公益事業を展開し,経営資源の有効活用に努めます.

7 健全な財務規律の確立

財務指標に基づく経営分析等を行うとともに,適切な収益性の確保に向け,職務権限・役割の明確化とコスト意識の醸成に努めます.

8 人権・福祉教育の推進

認知症や高齢者の理解を促進するため、学校などの他機関と連携した出前講座や啓発広報活動を実施し、人権尊重の意識の醸成に努めます.

9 理解と信頼を得るための情報発信

事業の透明性の向上のため、広報機能を強化し、第三者評価結果や苦情状況、財務諸表等を積極的に発信します. また、SNS等の普及を踏まえ、適切な情報管理に努めます.

10 災害時の対応

災害などに備えBCP(事業継続計画)の策定・周知をし、 BCPに基づく訓練を行うとともに、災害時要配慮者の受け 入れや復旧復興活動の支援を行います。

<5>

理事長 植島 宏信 インタビュー 将来像を描きながら,共に歩む



奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業 総合表彰

■ 魅力ある職場づくり

「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」という制度があり、労働関係法令の遵守に加えて法令の基準を超えた取り組みを実施している企業は登録することができます. 社会福祉法人 太樹会は2017年より、推進企業として奈良県のホームページなどに掲載していただいております.

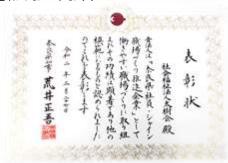
(2019.1.22.登録企業197社)

また、全登録企業の中で特に優れた企業として、2017年 に「仕事と家庭の両立推進部門」を授与いただき、そして、 2019年は「総合表彰」を授与いただきました。

家庭と仕事の両立を支援すべく,時間単位の年次有給休暇取得制度,有給休暇の積立制度(時効消滅分を最大101日),1週間の所定労働時間が短い短時間正社員制度などを導入し,子育てや介護などで多様化するライフスタイルに柔軟に対応しております.

支援の向上には、社員の働く環境の向上が不可欠であり、 社員満足度を高めずして、生活者の皆さまにご満足いただ くことは困難であります.

今後も「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業 総合表彰」の名に恥じぬよう、全社員が輝ける法人を目指し、 精進を重ねてまいります。



谷野会計事務所 経営勉強会

7 健全な財務規律の確立

2015年に施行された改正介護保険法によって特養入居の 条件は原則介護度3以上に限定され、特養入居まで数年かか ると言われた時代は終焉していきます.

どんぶり勘定で効率化のできない事業所,変化に応じて 進化できない事業所は淘汰され,より一層の効率化など先 を見据えた安定経営が求められます.

当法人では、社員の経営意識向上を目的として、役職者などを対象に、谷野会計事務所による経営勉強会を2019年より開始しました。月1回の定例勉強会において、組織の状態を公開し、課題共有を行うことで、一人一人が法人全体の経営を意識し、自発的に課題解決に向かうよう、組織風土の改革を目指してまいります。

新型コロナウイルス (COVID-19) 対策

10 災害時の対応

新型コロナウイルス感染症が世界各国に広がり、わが国 においても、全国に緊急事態宣言が発令されました.

政府の緊急対応策のもと,国内での健康被害を最小限に抑えるため,さらなる対策強化が図られることとなっています.

極めて厳しい状況下にあっても、すべての社員は、感染拡大防止に努めつつ、日々、地域社会のつぶやきや、さまさまに生ずる困難に真摯に向き合いながら、その対応に全力を尽くす所存です。



法人理念

おおき

私たちは太樹な心で社会に貢献します

私たちは、支援が必要になった人のみならず、その人を取り巻く家族や地域住民も含めて、かけがえのない人であることを誰もが互いに実感でき、未来に希望が広がるような社会の変革を目指します.

種々の実践では、パーソン・センタード・ケア*の価値基盤で対話し、可能性を引き出しあえる法人であり続け、大地に深く根付いた太い樹のごとく、共に成長したいと考えます.

* パーソン・センタード・ケア

その人を取り巻く人々や社会とのかかわりをもち, 人として受け入れられ, 尊重されていると本人が実感できるように, 共に行っていくケア

日本人DCMトレーナー会, 2009.6

運営方針

1. 素晴らしい体験は、素晴らしい組織から

理念や方針を実行に移すためには、組織の活性化が必須です。組織が活性化されない限り、パーソン・センタード・ケアの哲学は、絵に描いた餅となります。

いくら志が素晴らしくても,何も変わらなければその志も無価値に終わります.私たちが幸せになるような組織をともに創りながら,その組織を通じて,共生社会に貢献していきます.

2. 住み慣れた地域で、互いに必要とされる関係づくり

法人を取り巻くコミュニティ(地域社会)には、どのようなつぶやきがあるでしょうか、それらを知るためにも、より一層のかかわりや出会いの機会を早めることが求められます。

嬉しいことやつらいことなど、様々な心の内をお話いただけるような関係を築き、それぞれの思いが実現できるように心がけます。我がこととして関係の質を高め、互いに支えあい、認め合えるような関係を目指します。

3. 一人ひとりの尊厳に配慮した暮らしづくり

環境が変化した場合,誰しも少なからず影響を受けます。特に影響を受けやすい高齢者の特性に配慮します。繊細かつ真摯なかかわりを継続していくためにも、本人の内面をわかろうとする気持ちと観察の技能などを用いて、現在、未来に何を求められているのか、何をしたいと思っておられるのか、などを推察します。

生活者が一人の人として、その能力を発揮し、生きがいや居場所を実感できるよう、地域生活の支援や 生活環境の充実、権利擁護を具体的に推進します.

4. 専門職としての価値を理解し、知識、技術の向上

自分と異なる価値観を否定すると, 対人援助が成り立ちません.

「人」が「人」にかかわる対人援助のプロフェッショナルとして、自己覚知を実践します。

自己覚知を試みると、自分を恥じ、苦しんだり、孤独感にさいなまれたりすることもありますが、自分の中で相反する価値観が衝突するジレンマから逃げず、自分自身の理解や役割をともに深めていきます.

また, 常に多職種間で, 互いの役割やパーソン・センタード・ケアの哲学を共有するとともに, 社会から期待される知識と技術を身につけます.



約束事

- Ⅰ. 日常の五心を伝え合います
- 2. 「介護」を「支援」と置き換えます
- 3. パートナー同士の私語をなくし、生活者を中心とした会話を心掛けます
- 4. 「~ですか?」の言葉かけで自己決定を促します
- 5. 緊急時以外, 慌しい行動は慎み, 落ち着いた支援を行います
- 6. 配慮が不足したかかわりを行いません
- 7. 気づき, 考え, 行動し, 振り返ります
- 8. 「もし自分だったら…」と、常に念頭に置き、支援します
- 9. 多職種とのコミュニケーションを図り、スムーズな連携を目指します
- 10. 暮らしの場を損ねる恐れのある専門用語や「業務」的な言動を改めます
- ┃┃. 人と動物が良きパートナーになれる共生社会を目指します
- ✓ 「はい」という素直な心
- ✓ 「すみません」という反省の心
- ✓ 「私がします」という奉仕の心
- ┈┈> ✓ 「おかげさま」という謙虚な心
 - ✓ 「ありがとう」という感謝の心

"信頼関係"という便利な言葉は多用されていますが、無条件に信じられる関係を簡単に築くことはできません.

まずは、信用が得られるような人間関係を目指すことが必要ではないでしょうか.

そのためにも、日常の五心などを言動にすることが求められます.

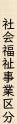
五心を言葉にするのは簡単ですが,以 下の点にも留意しましょう.

知っている < 解っている < できる < している < し続けている < 届いている



専門用語は、パートナー同士の連絡を簡潔に行うためだけの単語ではないでしょうか?単語(言葉)の意味を理解せずに活用すると、誤解を招き、相互理解が困難になりかねません。そのような言葉を使うこと自体がパートナー本意とも考えられるため、私たちは専門用語の意味を考え、生活者本位である言葉に置き換えます。

例えば、「食介」「巡回」「帰宅願望」「現場」など、何気なく使っている言葉そのものは間違いではありませんが、パートナー本位の言葉ではないでしょうか. 私たちが、認知症とともに生きる人たちのパーソンフッドを維持しようと取り組むプロセスとして、今一度、パーソン・センタード・ケアを考えるために、これらの表現を改めましょう.





法人概要

第1種・第2種社会福祉事業(高齢) 事業内容

社員数 189名

公益事業

サービス活動収益 923,703,474円

設立 2006年 (平成18年) 2月

奈良県大和高田市:|ヶ所

代表者 理事長 植島 宏信

奈良県香芝市:2ヶ所

2020年3月31日現在

事業区分

和里(にこり) 拠点区分

法人本部

特別養護老人ホーム

ショートステイ

デイサービスセンター

居宅介護支援

無料または,自費に近い対価で食事などを提供する飲食店事業(コミュニティカフェ事業)

和里(にこり)香芝 拠点区分

地域密着型特別養護老人ホーム ショートステイ デイサービスセンター 居宅介護支援

和里(にこり) 香芝Ⅱ 拠点区分

地域密着型特別養護老人ホーム 無料または,自費に近い対価で食事などを提供する飲食店事業(コミュニティカフェ事業)

公益事業区分

和里(にこり) 拠点区分

奈良県介護員養成研修事業(介護職員初任者研修/介護福祉士実務者研修)



KEYWORDS

志と使命感をもって職務に取り組む社員を育て,有為の人財を社会に送り出すことが, 21世紀の法人にとっての究極の社会貢献

日経CSRプロジェクト編:「CSR「働きがい」を束ねる経営」,日本経済新聞出版社,26-28(2006),一部改

パーソン・センタード・ケアの実現に向け、各自の姿を通して、

職務の奥深さや働きがいを発信しよう





3

6分野20項目の認証を取得!

■ 魅力ある職場づくり

人財共育の推進



未来を描くためのキャリアパス

研修は,「資質向上のための計画書」などで体系化し,階層別としています.「理念ハンドブック」や「人財共育ガイドブック」「支援の知識」などを更新し,専門性の向上に努めています.

奈良県福祉・介護事業所認証制度

福祉・介護人材の確保を図ることを目的として, 奈良県では2016年12月から「奈良県福祉・介護事 業所認証制度」の運用が開始されています。 社員の人材育成や処遇向上等につながる6分野20 項目の認証評価項目を県が審査し,基準をクリア した福祉・介護事業所を知事認証し,公表する制 度です。

求職者への情報提供以外にも、社員にとっては、 「自らの職場が認証事業所」であることの誇りを 持ち、モチベーションの向上につながることが期 待されています.

理当バイナック

人財共育ガイドブック





オープンカレッジで地域貢献

- 専門性と支援の質の追求
- 地域コミュニティの活性化 5
- 人権・福祉教育の推進 8



VR認知症プロジェクト研修会

最新テクノロジーを使った「認知症を体験する」研修を開 催しました.

福祉関係者をはじめ、一般、教員、学生など多くの方に参 加いただき, 認知症についての理解を深める機会となりま した.



DCM関西地区ブロック会 事務局

日本パーソン・センタード・ケ ア・DCMネットワークと連携 し,パーソンセンタード・ケア の普及とその向上に努めていま



奈良県認知症ケア専門士会 事務局

地域の方々と力を合わせて,認 知症ケアに取り組んでいる認知 症ケア専門士のサポートに努め ています.

地域交流スペースの無料開放

5 地域コミュニティの活性化

楽しくアロマヨガ	75回	1,125人
蹴真館	86回	860人
エムズヨガ	38回	760人
バンビーナインアリス	21回	273人
楽しく健康ヨガ	17回	255人
當麻混声合唱団	8回	240人
コールコパン	24回	240人
みつば家よさこい	8回	160人

ピハマウロアメケアロハ	17回	136人
ラ・ヴィ・コール	5回	100人
着付け教室	15回	75人
中国語教室	4回	40人
フラサークル プアオレナ	一回	2人
通夜・告別式	0回	



メディア掲載&外部主催の講演会・発表

専門性と支援の質の追求

人権・福祉教育の推進

理解と信頼を得るための情報発信 9



Media coverage (The most recent 3years)

2017年10月	奈良新聞	『安心して働ける』 奈良県福祉・介護事業所認証制度	社会福祉法人太樹会
2017年11月	池田書店	『認知症の人の気持ちがよくわかる聞き方・話し方』 columnなど	吉川聡史(施設長) 安田知美(相談職)
2019年2月	奈良県	『働き方図鑑 なら産業人材育成ジャーナル vol.2』 奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業の紹介	社会福祉法人太樹会
2019年 3月	奈良新聞	奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業 知事表彰	社会福祉法人太樹会
	マイナビ	『cura』 素顔★COLLECTION 人のために働く人たちの日常に迫る!	嶋田有里(相談職)
2019年 5月	奈良人権部落解放研究所	『ならヒューライツニュース』	吉川聡史(施設長)
	日総研出版	『介護人財』 介護スタッフの【働き方&休み方】改革	吉川聡史(施設長)
2019年 7月	奈良人権部落解放研究所	『みんなをつなぐ 包摂と寛容の社会をめざして』	吉川聡史(施設長)
2019年12月	奈良県長寿・福祉人材確保対策課	『care Jr. (ケアジュニア) 』	中西由紀(支援職)
	中和新聞	「認知症をもつ人とともに歩む社会へ」	吉川聡史(施設長)
2020年3月	奈良県	『県民だより奈良』 女性活躍の"今"	鎌田薫(支援職)





SEMINAR & REPORT (The most recent lyear)

日付	テーマ	発表者	主催者
2019年 5月	ユニットリーダー研修講師	岩岡 克己 (課長)	日本ユニットケア推進センター
	ユニットリーダー研修講師	伊田 尚矢(グループリーダー)	日本ユニットケア推進センター
2019年 6月	令和元年度大和高田市人権教育・啓発アドバイザー	吉川 聡史(施設長)	大和高田市
	平成31年度介護職員初任者研修講師	安田 知美(相談職)	奈良佐保短期大学
2019年 7月	ユニットリーダー研修講師	岩岡 克己 (課長)	日本ユニットケア推進センター
	令和元年度奈良県認知症介護実践リーダー研修講師	岩岡 克己(課長)	奈良県
	令和元年度奈良県認知症介護実践者研修講師	安田 知美(相談職)	奈良県
	令和元年度奈良県認知症介護実践リーダー研修講師	吉川 聡史(施設長)	奈良県
2019年 8月	平成31年度介護職員初任者研修講師	安田 知美(相談職)	奈良佐保短期大学
	令和元年度奈良県認知症介護基礎研修講師	伊田 尚矢(グループリーダー)	奈良県
	令和元年度奈良県認知症介護基礎研修講師	中尾 陽子(グループリーダー)	奈良県
	令和元年度奈良県認知症介護実践リーダー研修講師	吉川 聡史(施設長)	奈良県
2019年 9月	令和元年度奈良県認知症介護実践者研修講師	安田 知美(相談職)	奈良県
2019年10月	老年看護学実践論Ⅲ	吉川 聡史(施設長)	天理医療大学
	2019年度大和高田市立片塩中学校1年生ゲストティーチャー	嶋田 有里(相談職) 古川 紗弥加(支援職)	奈良県社会福祉協議会
	令和元年度奈良県認知症介護基礎研修講師	伊田 尚矢(シニアリーダー)	奈良県
	令和元年度奈良県認知症介護基礎研修講師	中尾 陽子(グループリーダー)	奈良県
2019年11月	令和元年度第2回奈良県キャラバン・メイト養成研修講師	岩岡 克己 (課長)	奈良県
	ユニットリーダー研修講師	岩岡 克己 (課長)	日本ユニットケア推進センター
	ユニットリーダー研修講師	伊田 尚矢(シニアリーダー)	日本ユニットケア推進センター
	令和元年度奈良県認知症介護基礎研修講師	伊田 尚矢(シニアリーダー)	奈良県
	令和元年度奈良県認知症介護基礎研修講師	中尾 陽子(グループリーダー)	奈良県
2019年12月	第32回奈良県老人福祉施設職員研究会議	森井 拡大(グループリーダー)	奈良県老人福祉施設協議会
	自施設実習成果発表	崎山 良子(ユニットリーダー)	奈良県
2020年 2月	自施設実習成果発表	吉田 淳人(支援職)	特別養護老人ホーム 高秀苑





社会福祉法人 太樹会 第8回実践発表会

4 専門性と支援の質の追求

和里(にこり)

タイトル	部署
VR技術を用いた施設紹介に関する取り組み	青龍ユニット
ユニット内の備品等対応方法確認リストの作成と活用	朱雀ユニット
支援の差に対する問題提起	葛城ユニット

和里(にこり)香芝

タイトル	部署
穏やかに食後タイムを過ごすために	天羽ユニット
デイサービスにおける音楽レクレーション(体操)の取り組みがもたらす効果と考察	デイサービスセンター

和里(にこり)香芝Ⅱ

	タイトル	部署
足湯を活用し心身のケアを行いたい		耳成ユニット

新入社員発表

タイトル	報告者
和里(にこり) _® に入職しての一年	明石 恵実,雲丹亀 彩香,大橋 正弥



和里



暮らしの総合記録シートの活用

"経験"と"勘"だけではなく,法人内外の協力のもと,Evidence-Based Careを心がけました. |週間24時間の生活情報を生活者ごとにシート化すると,本人の状態が把握しやすくなり,的を 絞ったアプローチができました.

ICTの活用

昨年からICTを導入しました.

孤独感の解消,情報伝達時間の短縮,円滑な緊急時対応,夜勤社員の情報共有など,色々な場面で活用できました.

初めは使い慣れない社員もいましたが,活用性の高さから徐々に普及率も高まりました.

意向に応じた余暇活動

現在,クラブ活動は,華道,茶道,陶芸,おりがみ俱楽部,音楽療法を講師にご指導いただいています.毎月,楽しんで参加され,お部屋が作品展のようになっている生活者もおられます.クラブ自体の楽しみは勿論ですが,講師との会話も楽しみの一つになっています.イベントは,近隣の幼稚園,小学校の訪問や地域の方,普段,和里(にこり)を利用されているサークル,ご家族が所属されているサークル,和里(にこり)とご縁のある方など,多くの方が訪問され,年間通して色々な催し物で楽しませてくださいました.毎年来てくださる方もいますので,来年の楽しみに繋がっています.



実績:94.8% 前年比:+4.0%

空床:延 446床

入院:延1,264床 誤嚥性肺炎,尿路感染など

次年度に向けて

DCM認定施設及びユニットリーダー研修施設としての責務を果たしながら、地域包括ケアシステムにおける一つの「住まい」としての魅力をステークホルダーに発信します.

具体的には,次の取り組みなどを実施します.

- ・各種指標管理と免疫力の改善や支援方針の言語化と徹底(最適化マネジメント)
- ・認知症ケアの質の向上 [認知症専門ケア加算Ⅱ]

また、職場環境の維持向上のために、ICTの利活用とキャリアパスや福利厚生制度の展開及び見直しを図り、将来の上位認証制度に備えます。

事業内容 介護老人福祉施設 定員90名 所在地 奈良県大和高田市野口325番3

担当者 施設ケアマネジャー 梶本 卓児

和



『できる』を実現するために

事業所にいるから『我慢する』『できない』ではなく、事業所でも『できる』を実現するため に、日々、考え支援しています.

生活者のご家族から、「安心して任せています」や生活者の笑顔が増え、「うれしいです」とのお言葉をいただけることもありました.

社員(育児中)の子どもが遊びに来ると、名前を覚えて下さっており、社員がいなくても一緒 に遊んで下さるなど、馴染みの関係もでき、生活者も子どもも笑顔になりました。

食事

私たちは、ショートステイを利用していただいている方の思いに寄り添い、安心して、寛いでいただき、「また行きたい」と思っていただけるようなおもてなしをしています.

そのような中、「ショートステイの食事がおいしくない」「おいしくないから行きたくない」という声があがり、2018年度から新たに設けた食材費を活用し、2019年度も食事の充実化を図ることが定着してきました。朝からテレビで食べ物の番組を観ておられ、「これが食べたい」と話題になれば、可能な限り対応させていただき、ご希望に沿って、お好み焼きやちらし寿司を作ったり、ときにはピザを注文したりして生活者・社員みんなで食べることもありました。



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 1月 2月 3月

次年度に向けて

パーソンフッドを高め、自宅での関係性が継続できるような関わりを目指します. また、自立度が低下しないように、在宅復帰を念頭に置いて、重度化防止の関わりを実践します.

具体的には,次の取り組みなどを実施します.

- ・生活支援計画書の質の向上(生きがいのある目標指向型に)
- ・ホスピタリティの充実(接遇、くつろぎ・やすらぎの環境整備)
- ・広報活動の習慣化(実践内容,空床状況,行事予定表など)
- ・食事の工夫による満足度向上

事業内容 短期入所生活介護 定員20名 所在地 奈良県大和高田市野口325番3 担当者 相談職 堀江 麻里 · 嶋田 有里



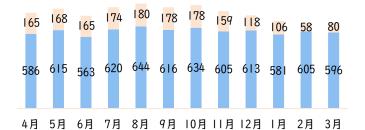
選ばれるデイサービスに向けて

生活者の嗜好や家族の意向に応じて, 日々, 活動の提供を行っています.

食事づくりの役割に生きがいを感じる方には、管理栄養士と共に食事づくりの実施、季節に応じた外 出や日常の散歩の継続を希望される方には、作業療法士と共に日々の機能訓練の実施.このように専 門職と生活者とのニーズをすり合わせ、より価値を見出せるようなサービス提供に努めました。 また, 社員には経営状況の意識付けや個々の役割, 達成目的の意識付けを行いました.



■実人数 = キャンセル数



実績:67.1%

前年比:+ 4.5%

次年度に向けて

可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立(自律)した日常生活を営むことができるよう 生活機能の維持または向上を目指し、必要な日常生活上の機能訓練を行うことにより社会的孤立感の 解消及び心身の機能の維持を目指します.

主な取り組みとしては,次の内容を企画いたします.

- ・自宅の困りごと解消のために現状把握と自律支援
- ・機能訓練の充実(機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ,アウトカム評価,定期的な広報活動)
- ・人件費比率の最適化

事業内容 通所介護 定員35名 所在地 奈良県大和高田市野口325番3

担当者 管理者 岩岡 克己

和



地域で暮らすために

2019年5月1日付で「平成」から「令和」の時代になり、高齢化社会も重なって「大正」時代から「昭和」「平成」「令和」の4つの時代を生きてきた高齢者がいます。要介護高齢者や家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすには「地域包括ケアシステム」を踏まえて、専門職や地域住民、民生委員などの社会資源の連携や「お互いに顔の見える関係づくり」がますます重要となっています。

ケアマネジャーとして, 定期的な訪問により意向を伺い, その方に合った介護保険サービスや 介護保険外のサービスに繋げました.

「自宅で生活を続けたい」

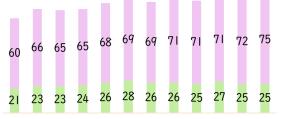
A様:k市在住,要介護1,女性,アルツハイマー型認知症,障害のある長男と同居.長男は日中,就労支援センターで就労しているため,デイケアのない日は日中独居.

2019年4月から家族希望で居宅を担当. 当初は長女と3人で住んでいたが、事情があり長女が出て行った. その後は本人・長男と2人の生活が始まり、本人の「できる限り慣れた家で息子と生活をしたい」という想いを尊重してケアプランを作成した. I日1回訪問介護、週2回通所リハビリ、歩行器のレンタル、社協の日常生活自立支援事業、週2回民間の宅配弁当を利用しながら、在宅生活を送っておられる. 認知症のため、日常生活において小さな支障はあるが、都度、各事業所などと連携して対応しました.





■要支援 ■要介護



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

実績:要介護68.5件 前年比:+11.3件 要支援24.9件 前年比:+ 3.9件

次年度に向けて

住み慣れた地域で、本人の意向を大切にした、よりよい暮らしを継続できるように、フォーマルとインフォーマルな支援を効果的に組み込んだ居宅サービス計画を作成します.

総合的かつ効率的に支援されるよう各機関と連携・協働します.

具体的には、地域ケア会議やケアマネ連絡会での情報収集、事例検討会の開催などでケアプランを点検し、地域協働のエピソードを言語化します.

事業内容 居宅介護支援 所在地 大和高田市野口325番3

担当者 管理者 吉川 聡史



介護福祉士の実習生受入れ

2019年度より養成校から介護福祉士の実習生受入れを開始しました。

各2名の実習生を5月に19日間,9月に23日間,10月に5日間の日程で特養,ショートステイ,デイサービスの部署に受入れ,後進の育成に力を入れました.

生活者, 社員にも良い刺激となり, 普段なかなか気付かないことにも気付ける良い機会となりました.



カラオケ大会

香芝,香芝Ⅱは地域密着型の事業所で香芝市民が対象です. ユニットやフロア,建物が違えば顔馴染みの生活者であって も顔を合わす機会が少ない場合があります.

そこで香芝, 香芝Ⅱの生活者同士が顔を合わせ, 一緒に楽し む機会を設けました.

7月,12月,3月は中止となりましたが,計2回開催し,毎回,絶対的王者に挑戦するために歌の練習をされる生活者の姿も見られました.



新規

要介護3要介護4要介護5333

実績:75.3% 前年比:▲9.7%

空床:延2,621床

入院:延 423床 誤嚥性肺炎,肺炎,心不全など

次年度に向けて

経営基盤とサービス向上のため、種々の取り組みを実施します.

- ・見学会の定期開催,地域イベントへの参加[6月・11月],空床利用の活用[上期]
- ・運営推進会議や地域ケア会議で課題分析を行い、Evidence-Based Careの高度化に努めます。
- ・Optimization management (最適化マネジメント) [毎月]
- ・人と動物が幸せに共生できる社会へ [上期]

また、外部評価の早期実施に向けて、法人本部、和里(にこり)と連携・協働を図ります。

事業内容 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 定員29名 所在地 奈良県香芝市鎌田594

担当者 施設長 植島 康平



大切にしていること

ショートステイを利用される方の理由は色々あります.

また利用したいと思ってもらえるように心掛けていることがあり、それが「食事・おやつ作り」と「繋がり」です.

普段あまり食べる機会がない食事やおやつ作りを一緒に行い, 意欲向上に努めました.

また, オセロや誕生日を一緒にお祝いすることで生活者同士の関係性を深められるようなアクティビティを実施しました.



92 91 92 79 82 86 84 87 87 69 69

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

次年度に向けて

に努めます.

ショートステイ和里(にこり)と協調して支援にあたります.

パーソンフッドを高め、自宅での関係性が継続できるような関わりを目指します。

また、自立度が低下しないように、在宅復帰を念頭に置いて、重度化防止の関わりを実践します。 具体的には、生活支援計画書を生きがいのある目標指向型にすることや、ホスピタリティの向上など

実績:63.4%

事業内容 短期入所生活介護 定員11名 所在地 奈良県香芝市鎌田594

担当者 施設長 植島 康平

前年比: ▲23.1%



各自の知識(習慣)を生かす

機能訓練もかねて、敷地内の畑の野菜を収穫し、採れ立ての野菜を使った食事づくりを生活者 と共に行ってきました. 生活者の知識(味付け, 切り方等)を調理に取り入れ, 社員も参考に することがたくさんありました.







生活者や社員が定着できるようなプログラムの構築

食事づくりをとおした機能訓練以外にも, 音楽を用いた体操を行いました. 昔懐かしい唱歌や 童謡,歌謡曲のリズムに合わせ,自然と体が動き,生活者が習慣・定着できるような体操を行 いました. また、塗り絵や創作作品づくりなど、様々なプログラムを提供しました.



実績:50.5%

前年比:▲11.5%

稼働率(%)



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

次年度に向けて

地域密着型サービスの特性を探ります、管理的な日課をつくらず、個別的な関わりを実践します。 ご本人の住み慣れた家(地域)での暮らしの継続や、生きがいづくりを支援します。

また、おもてなしを実践し、顧客満足度の向上を目指します.

具体的には、自宅での暮らしの情報収集[4~5月],生活リハビリや機能訓練の強化[毎月],外出 や買い物の強化[毎月],認知症ケアの質の向上[毎月]などを実施します.

事業内容 地域密着型通所介護 定員10名 所在地 奈良県香芝市鎌田594

担当者 施設長 植島 康平



地域包括ケアシステムでの協働

香芝市主催の研修で近隣住民の方と知り合い,そのご縁で2017年より近隣住民主催の認知症カフェに参加しています.

2ヶ月に1度,認知症の方やご家族と交流している中で,「ここに来るとホッとする」との声も 聴かれます.

今後も可能な限り, 専門職として関わっていきたいと思っています.

「自宅での看取り」

A様は、闘病中の1月に状態が急変し入院され、春までという余命宣告を受けました。

退院希望により病院相談員が介護申請し,ケアマネジャーの新規依頼がありました.

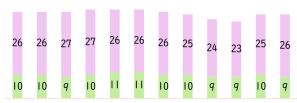
病院での2度のカンファレンス,自宅を数回訪問し,急ぎ退院することが決まったため暫定プランを作成しました. 2月中旬に退院し,3月末に永眠されましたが,ご本人は自

2月中旬に退院し、3月末に永眠されましたが、ご本人は自宅に帰れたことを喜び、ご家族からも感謝の言葉をいただきました.

往診医・訪問看護師・ヘルパー・福祉用具専門員と連携を 密に行い, 信頼関係づくりに努めました.



■要支援 ■要介護



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

実績:要介護25.6件 前年比:▲ 3件 要支援 9.8件 前年比:+2.2件

次年度に向けて

住み慣れた地域で、本人の意向を大切にした、よりよい暮らしを継続できるように、フォーマルとインフォーマルな支援を効果的に組み込んだ居宅サービス計画を作成します.

総合的かつ効率的に支援されるよう各機関と連携・協働します。

具体的には、地域ケア会議やケアマネ連絡会での情報収集、事例検討会の開催などでケアプランを点検し、地域協働のエピソードを言語化します。

事業内容	居宅介護支援	所在地	香芝市鎌田594
担当者	管理者 南 泉		



食の楽しみ

和里(にこり)香芝Ⅱは5年が経過し,

「食の楽しみ」に力を入れながら、日々の暮らし に楽しみを持っていただけるような支援を心がけ ています.

週に1度以上実施している,ユニットでの料理で は、生活者から何を食べたいか?を確認しながら、 家庭菜園でとれた旬の野菜を使用して,季節を感 じることができるメニューを取り入れて料理を行 いました.



5周年

2019年5月16日,和里(にこり)香芝Ⅱの5周年を記念して,祝い膳をつくり,生活者に召し上がってい ただきました.





新規

要介護3 要介護4

要介護5 5

新規:10名(居宅2名, 医療機関8名)

実績:87.0% 前年比: ▲5.2%

空床:延801床

入院:延550床(延29名,平均19.0日)

肺炎,蜂窩織炎,腎盂腎炎,尿路感染症など

次年度に向けて

外部評価の早期実施に向けて, 法人本部, 和里(にこり)と連携・協働を図ります. 運営推進会議や地域ケア会議で課題分析を行い, Evidence-Based Careの高度化に努めます. また、人と動物が幸せに共生できる社会を目指して、ステークホルダーへの説明を継続します。 経営基盤強化のため、見学会の定期開催、地域イベントへの参加、中学校区単位の情報発信に努めま す.

事業内容

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 定員29名

所在地

奈良県香芝市鎌田602

担当者

施設長 植島 康平



介護福祉士実務者研修

2016年度の介護福祉士国家試験から実務者研修の修了が義務付けられました.

実務経験だけでは修得できない知識・技術を実践的な授業で学ぶことができました.

また,ディスカッションを実施することで,支援のあり方を再確認し,お互いに高めあうことができる貴重な機会になりました.

|期生: 9名(一般|名/社員8名) | 2期生: 8名(一般4名/社員4名)

2019年度

3期生: 8名(一般3名/社員5名)







次年度に向けて

培ってきた知識・技術・ネットワークを活用し、地域へ還元することで、地域の福祉力・介護力を醸成し、地域福祉等の増進に寄与したいと考えます。

地域における雇用創出と介護福祉分野における経営革新の支援や創業支援を実施するための介護員の 養成を図ります.

具体的には、初任者研修を休止し、実務者研修(年2回定員15名)の開催と授業設計の充実に努めます.

事業内容 実務者 定員10名 所在地 奈良県大和高田市野口325番3

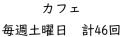
担当者 施設長 吉川 聡史





出会いのポイントを早め、地域で継続性のある暮らしを支える『和gen』







居酒屋 第3金曜日 計10回

生活者	370名(▲39)
一般(家族含む)	269名(+42)
社員	68名(▲24)
計	707名(▲21)

地域の方が誰でも気軽に立ち寄ることができる『和gen 香芝Ⅱ』

好きな飲み物, お菓子を選ぶ, カフェで友人と会話を楽しむ.

そんな普通の暮らしを大切にしてきました.

(認知症カフェ:|回開催,参加者5名)



カフェ 第3木曜日 計10回 262名



おやつバイキング 不定期 計2回 63名



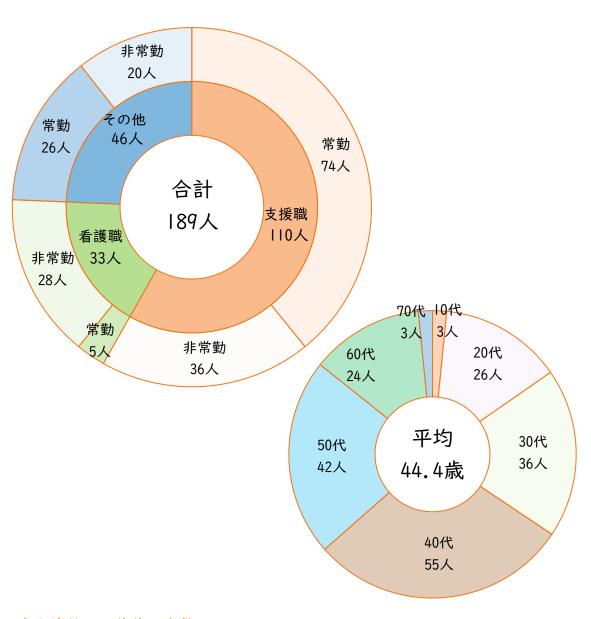
居酒屋 不定期 計1回 21名

次年度に向けて

地域の中で認知症とともに生きる人やその家族などが気軽に立ち寄ることができ、つぶやき(困りごと、ニーズ)の対話を通じて、孤独感や介護負担の軽減ができるような人と場所を提供します. 認知症の有無などに関わらず、誰もが互いに認め合えるような街づくりを目指します. 具体的には、開催日の拡大(他機関、地域住民への貸し出し)、プログラムの充実(大学との連携、終活・就活セミナーなど)、たずさわる人の養成、まほろば幸いネット等と連携に努めます.

事業内容 コミュニティカフェ 所在地 大和高田市野口325番3/香芝市鎌田602

担当者 管理栄養士 竹内 彩予祜 / 管理栄養士 川上 由紀



主な資格と研修修了者数 2020年3月31日時点

介護福祉士	86
実務者研修	20
ホームヘルパー 級	3
ホームヘルパー2級	30
初任者研修	16
社会福祉士	5
社会福祉主事	8
看護師	27
准看護師	14
管理栄養士	6
作業療法士	3
主任介護支援専門員	3

介護支援専門員	15
精神保健福祉士	1
歯科衛生士	1
ユニットケア管理者研修	2
ユニットケア指導者	2
ユニットリーダー研修	10
アセッサー	22
福祉住環境コーディネー ター2級	6
福祉住環境コーディネー ター3級	ı
衛生管理者	1
日商簿記2級	1
日商簿記3級	2

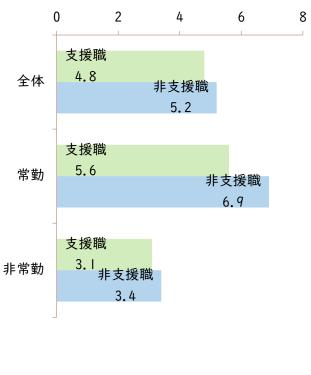
	(人)
認知症介護指導者	5
認知症介護実践リーダー研 修	16
認知症介護実践者研修	18
認知症介護基礎研修	8
DCM上級ユーザー	2
DCM基礎ユーザー	8
上級認知症ケア専門士	4
認知症ケア専門士	20

	採用数							退職数									
	職種! 小計		別内訳		雇用 常勤	用形態別の	为訳 非常	常勤	小計	職種別	別内訳			勤続年数	τ		社員数 (年度末)
	3 81	支援	非支援	正社員	契約 社員	常勤 パート	非常勤パート	嘱託 社員	3 01	支援	非支援	3か月 未満	年 未満	3年 未満	5年 未満	5年 以上	
2007年度	87	57	30	46	2	15	20	4	32	22	10	22	10	0	0	0	55
2008年度	22	17	5	16	ı	3	2	0	18	15	3	4	5	9	0	0	59
2009年度	34	21	13	15	3	3	10	3	21	16	5	7	7	7	0	0	72
2010年度	39	26	13	12	6	ı	13	7	29	18	Ш	8	П	6	4	0	82
2011年度	93	59	34	48	9	6	24	6	38	22	16	12	13	7	6	0	137
2012年度	68	45	23	36	9	0	19	4	51	34	17	17	13	15	4	2	154
2013年度	60	41	19	30	5	ı	16	8	56	44	12	9	12	27	6	2	158
2014年度	67	57	10	40	4	3	13	7	50	41	9	16	16	12	5	ı	175
2015年度	40	26	14	16	5	3	12	4	35	28	7	6	10	10	9	0	180
2016年度	44	30	14	21	3	0	16	4	35	23	12	6	7	9	8	5	189
2017年度	37	23	14	П	0	2	19	5	41	29	12	10	5	16	3	7	185
2018年度	37	19	18	15	-	ı	18	2	46	24	22	4	5	16	6	15	176
2019年度	54	Ш	23	12	2	2	35	3	41	27	14	10	10	10	5	6	189

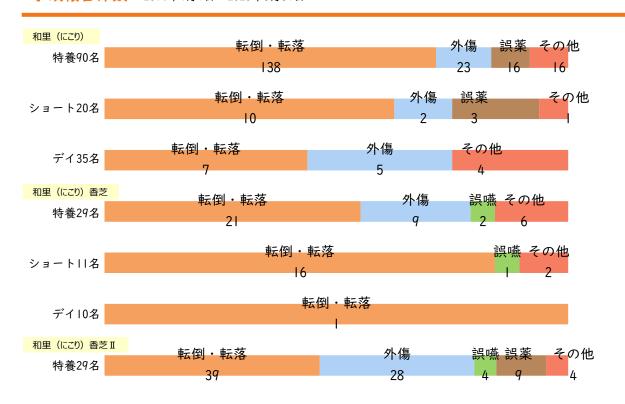
定着率 (離職率) の推移

	定着		高佳耳	哉率
		試用期間除く		試用期間除く
2007年度	41.8%	81.8%	58.2%	18.2%
2008年度	69.5%	76.3%	30.5%	23.7%
2009年度	70.8%	80.6%	29.2%	19.4%
2010年度	64.6%	74.4%	35.4%	25.6%
2011年度	72.3%	81.0%	27.7%	19.0%
2012年度	66.9%	77.9%	33.1%	22.1%
2013年度	64.6%	70.3%	35.4%	29.7%
2014年度	71.4%	80.6%	28.6%	19.4%
2015年度	80.6%	83.9%	19.4%	16.1%
2016年度	81.5%	84.7%	18.5%	15.3%
2017年度	77.8%	83.2%	22.2%	16.8%
2018年度	73.9%	76.1%	26.1%	23.9%
2019年度	78.9%	83.6%	21.1%	16.4%

平均勤続年数 2020年3月31日時点



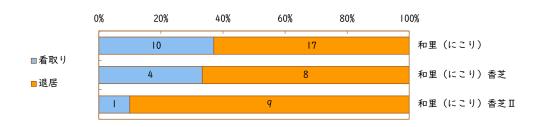
事故報告件数 2019年4月1日~2020年3月31日



苦情解決件数 2019年4月1日~2020年3月31日

和里(ル	ここり)								
区分	申出人	方法	苦情内容	説明 不足	社員の 態度	サービス 内容	サービス 量	管理 体制	権利 侵害
特養	家族	23	窓口対応(事務室で書類を預かってもらえない)		~				
特養	家族	25	謝罪対応(支援事故の入院で説明の電話がない)	~	~			~	
特養	家族	25	窓口対応(電話ガイダンスがわからない)	~		~		✓	
ショート	担当 ケアマネジャー	25	予約対応 (ショートの顧客なのに予約がとれない)	~		~			
デイ	家族	25	運転方法 (送迎中の交通ルール無視)		~			~	
デイ	家族	25	サービス対応(陰部の治療目的とはいえ写真で説明)		~			~	✓
デイ	家族	<u>Ė</u>	サービス対応(飲物を買わないよう依頼しても買う)		~				
デイ	家族	ķīį.	謝罪対応(保険会社に連絡先を勝手に伝えた)		✓			~	~
居宅	家族	23	窓口対応(電話ガイダンスがわからない)	~		~			
居宅	家族	23	サービス対応 (ショートの食事がおいしくない)			~			
外部	匿名	A	運転方法 (安全運転ができていない)		✓			~	
外部	匿名	23	運転方法(デイ送迎で交通ルールを無視している)		✓			~	

看取り支援をさせていただいた生活者数



Objectively looking at our corporation







地域交流スペースの貸し出し(推計)

事業所の認知度向上が主目的ではありません. 地域住民のつぶやき(生活課題)を知り、事業所の 方向性を探ること.

そのために、12団体のサークルに計319回無料開放いたしました。



|ヶ所

ユニットリーダー研修実地研修施設

日本ユニットケア推進センターの認証事業所は,全国に69か所ありますが,奈良県においては,和里(にこり)のみです. 県内外のユニットリーダー62名がユニットケアを学びました.

1,101人(延人数)

実習生の受け入れ人数

介護福祉士,社会福祉士,看護師,教職員, 県職員,ユニットリーダー研修などの実習生 を積極的に受け入れ,事業所の役割や専門性 について対話をしています.



21ヶ所

「くるみん」認定企業 (奈良県公表)

次世代育成支援対策推進法に基づき, 社員の仕事と 子育ての両立を図るための行動計画を実施している ため, 厚生労働大臣の認定を受けています.



3件 (2,273,000円)

採択された補助金事業

法人としての活動の幅が広がるだけではなく, チャレンジのための「ビジョン」と「計画的 実行」, そして法人の信用につながります.



5ヶ所

認知症ケア学会の認定機関(関西)

学会の代議員による推薦,教育支援を継続的に 行なっていることなど, 一定の要件を満たした 認定機関数は全国に34箇所です.



500人

外部研修受講者 (延人数)

ドリームコース社員を中心として, 個人と組織の資質向上を図るために, 法人外研修に積極的に参加していま す.

7_{団体}

見学に来てくださった団体数

閉鎖的環境ではなく、他法人などと積極的 な交流を図っています. 山梨県, 愛知県, 高知県などから訪問いただきました. 国内外に技能移転が可能となるような品質 保証を目指しています.

2ヶ所

DCM推進協力施設(関西)

認知症介護研究・研修大府センターの認定事 業所は、全国に11か所です. 認知症ケアの質 の向上のため、PCCの実現に努めるとともに, 事務局としての責務を全うします.



2ヶ所

認知症ケア専門士会(関西)

日本認知症ケア学会認定の専門士会は、全 国に26か所です. 認知症ケア専門士の自己 研鑽と地域交流のため、事務局としての責 務を全うします.

2019年度	決算報告							
流動資産	229, 547, 504							
固定資産	1,909,512,180							
資産合計	2, 139, 059, 684							
流動負債	205, 964, 289							
固定負債	614,737,582							
純資産の部	1,318,357,813							
負債及び純資産合計	2, 139, 059, 684							
事業活動	計算書							
【サービス活動増減の部】								
サービス活動収益計①	923, 703, 474							
(介護保険事業収益)	915, 255, 656							
(経常経費寄付金収益)	147,000							
(その他収益)	8,300,818							
サービス活動費用計②	925, 069, 253							
(人件費)	659, 865, 577							
(事務費・事業費)	225, 937, 181							
(減価償却費)	52, 875, 464							
(国庫補助金等特別積立金取	崩し額) △13,608,969							
サービス活動増減差額③=①-②	△I,365,779							
【サービス活動外増減の部】								
サービス活動外収益計④	3,465,911							
サービス活動外費用計⑤	10,911,031							
サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	△7,445,120							
経常増減差額⑦=③+⑥	△8,810,899							

【特別増減の部】

次期繰越活動増減差額

特別収益計⑧	0
特別費用計⑨	4,591
特別増減差額⑩=⑧-⑨	△4,591
当期活動增減差額①=⑦+⑩	△8,815,490
前期繰越活動増減差額⑫	590, 074, 325
当期末繰越活動増減差額③=①+②	581,258,835

581, 258, 835



Let's optimize our lifestyle